

地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金・地方創生応援税制のK P I の実績について（令和元年度）

事業名	番号	内容	単位	区分	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	5年後の達成状況	達成率	事業の成果		事業の効果	事業の評価	担当課
												事業で得られたノウハウ				
○加速化交付金【単独】 遠野市中心市街地再生を基軸とした生涯活躍のまちづくりプロジェクト～遠野BREW遠野物語第2章～	1	新規起業・創業創出数	件	目標数値(累計)	1	-	-	6		達成	150%	増加無し	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった	まちづくり推進課	
				実績値(累計)	1	6	9	9								
	2	生涯活躍事業に関連する雇用者数	人	目標数値(累計)	1	-	-	20		達成	100%	増加無し	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった	まちづくり推進課	
				実績値(累計)	3	11	20	20								
	3	福祉関連施設の整備	件	目標数値(累計)	0	-	-	3		達成	133%	増加無し	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった	まちづくり推進課	
				実績値(累計)	1	2	4	4								
	4	空き家、空き店舗等の利活用	件	目標数値(累計)	1	-	-	10		達成	200%	【成果・評価】 その他1件が空き店舗等の活用により開業があった。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった	まちづくり推進課	
				実績値(累計)	2	14	19	20				【事業で得られたノウハウ】 移住者等起業支援拠点施設を一日市通りに整備したことや、市役所本庁舎を中心市街地の中心地に移転したこと等が空き店舗の活用に結びついていた。				
○加速化交付金【広域】（花巻市・平泉町・遠野市） 地方観光の稼ぐ力を強化する体験型事業の創出と広域的連携	5	体験型事業数	事業	目標数値(累計)	2	-	-	2		達成	100%	【事業の成果】 伝承園における裂織り体験及び柏木平レイクリゾートのマウンテンバイク体験事業数は事業当初のまま現状を維持している。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった	観光交流課	
				実績値(累計)	2	2	2	2				【事業で得られたノウハウ】 花巻市及び平泉町と連携し実施しているが、3自治体のメニューを体験しながら、且つ他施設への波及効果を生む仕組みづくりが必要であることを認識した。				
	6	当該体験型事業への総参加者数	人	目標数値	200	-	-	200		未達成	82%	【事業の成果】 昨今の観光ニーズは、アクティビティを主とした体験型の旅行が人気となっており、参加者数が増加傾向にある。一方で裂き織り体験は、講師の体調不良によって体験活動が制限されてしまい、利用者数は減少している。裂き織り体験の後継者育成が急務となっている。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった	観光交流課	
				実績値	252	235	207	163				【事業で得られたノウハウ】 体験型メニューに一定のニーズがあるが、令和元年度の体験型事業の総参加者数は163人と事業開始から3年が経過し体験者数も減少しているため、これまでは異なった取り組み方法やPR方法が必要であることを認識した。 引き続き、広域連携で取り組んでいる花巻市、奥州市及び平泉町と連携したPRを行うとともに、今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、新しい生活様式を取り入れた体験の在り方を検討し				
○地方創生推進交付金【単独】 とおののもの・こころ海外経済交流プロジェクト	7	遠野市の特産品等海外取引額	千円	目標数値	300	1,000	1,500	1,800	2,000				地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった	六次産業室	
				実績値	845	10,890	13,750	20,000		【事業で得られたノウハウ】 3カ年の事業で得られた海外展開事業のノウハウを基に、令和元年度から中国及びベトナムの市場調査も行い、現地に出店している日本法人との商談会を重ね販路拡大を図っている。						
○地方創生推進交付金【単独】 自動車産業集積化加速 ローカル連携・グローバル展開プロジェクト	8	市内自動車関連ゴム製品製造出荷額（増額分）	千円	目標数値				90,000	90,000			【事業の成果】 国内で開催された大規模な展示会への出展による販路拡大により、自動車関連ゴム製品製造出荷額の増額に寄与した。 また、機械装置や倉庫整備等の設備投資により取引額が増加した。	地方創生に相当程度効果があった	目標を達成できなかったものの、K P I 達成に向けて有効な取り組みであった	商工労働課	
				実績値				80,000		【事業で得られたノウハウ】 展示会への出展による製品のPR						
	9	自動車関連企業 設備投資額	千円	目標数値				290,000	300,000			【事業の成果】 地域未来投資設備資金利子補給補助金を交付し、機械装置や倉庫整備等の設備投資が行われた。	地方創生に一定の効果があった	当初計画より事業規模を縮小したものの、令和2年度の設備投資計画と併せて有効であった。	商工労働課	
				実績値				12,462		【事業で得られたノウハウ】 補助制度の活用による設備投資の誘導						

10	自動車関連企業 現金給与総額(増額分)	千円	目標数値				20,000	45,000	【事業の成果】 展示会への出展による販路拡大や設備投資による取引額の増加が、従業員への給与支給へ寄与している。 【事業で得られたノウハウ】 設備投資と雇用確保を総合的に取り進むことによって、事業効率性を高めるノウハウが得られた。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	商工労働課
			実績値				30,000					
11	とおのでくらす&はたらく若者定着促進事業参加数	人	目標数値				260	480	【事業の成果】 市内の4社、2業種を選定し、若者への移住・就業のアピールにつながるものとして「子育て環境」や「仕事のやりがい」といった地域産業の魅力を掘り起こした。 【事業で得られたノウハウ】 市内の若年就業者の意見を取り入れ、インターネット等新しい手法を用いた地元企業紹介用コンテンツ制作の企画・立案ができた。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	商工労働課
			実績値				306					
○地方創生推進交付金【広域】 ICT&SIBの活用により健康長寿課と扶助費の増加抑制を可能とする飛び地連携型大規模ヘルスケア事業	ICTヘルスケアサービスによる5市町の医療費・介護給付費の抑制額(2018年度対比)	百万円	目標数値						-	-	-	健康長寿課
			実績値									
13	ICTヘルスケアサービスの参加者数(2018年度からの継続参加者含む)	人	目標数値				2,900	3,500	【事業の成果】 飛び地連携する全国の5市町と令和5年度度を目処に医療費・介護給付費の12億円削減を目指す。そのためにも、一人でも多く事業に参加してもらうことが必須である。令和元年度は全体の目標数に若干不足したが、多くの方々に参加いただいた。 【事業で得られたノウハウ】 連携する全国5市町及び評価機関が定期的に合同ミーティングを実施しながら互いの情報を共有・アドバイスをもらい、課題克服につなげることができた。	飛び地でありながら連携する自治体同士が新たな手法によるヘルスケア事業に着手しながら、医療費の抑制に向け取り組んでいる。当市の取組としては、参加者市内事業所(企業)への加入促進により新たに3事業所が加入し、事業者団体は8団体となった。個人も含めた事業参加者は、1,279人となった。定期的に健康情報をケーブルテレビで発信したほか、参加者によるロコミなどにより着実に『健幸のWA』が広がってきている。若い世代の歩数変化に課題が残ることから、ICT技術を駆使しながら日々の歩数状況などを常に意識してもらうよう継続していく。	全国で飛び地する5市町と連携し、医療費・介護給付費の削減に向け同じ目標のもと定期的に合同ミーティングを開催しながら、新規参加者の確保に向け取り組んでいる。	健康長寿課
			実績値				7,102					
14	健幸アンバサダー養成人数	人	目標数値				700	700	【事業の成果】 より多くのアンバサダー(市民等がロコミにより参加者を促進)を養成したことで、より多くの方が事業に参加した。 【事業で得られたノウハウ】 連携する全国5市町及び評価機関が定期的に合同ミーティングを実施しながら互いの情報を共有・アドバイスをもらい、より多くのアンバサダー確保への呼びかけをすることができた。	医療費抑制に向けた取り組みには、一人でも多くの参加者を確保する必要がある。このことから事業周知についての情報を会員自らロコミで広めることに効果があり、今後も事業所(企業)も含め一人でも多くのアンバサダーを要請する。	参加者のネットワークを活用した健幸アンバサダーの養成により、ICT健康塾スタッフの勧誘以外にも直接入会される市民も増えている。新規に加入した会員が事業の内容を理解し、アンバサダーとなって新規会員の輪を広げられるよう今後ともケーブルテレビや広報、ICT技術を活用し健康に関する情報発信を継続する。	健康長寿課
			実績値				776					
○地方創生拠点整備交付金】 遠野みらいづくりカレッジ拠点化推進計画	レストランの年間収益	千円	目標数値				3,000	4,000	【事業の成果】 6月30日にオープンし、営業期間は実質9か月間。野菜は主に地元産のものを仕入れたことから、地元生産農家の収益向上に寄与した。 【事業で得られたノウハウ】 限られたランチメニューのみの提供だったため客単価が低い状態であった。夜間営業や新メニューの導入等により客単価の改善を図る等収益向上に努めたい。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPIは達成出来なかったが、交流人口拡大等により地域の活性化に有効であった	生涯学習スポーツ課
			実績値				2,040					
16	レストランの年間利用者数	人	目標数値				3,000	4,000	【事業の成果】 婚活イベントや地元出身ソムリエによるワイン講座を開催したほか、首都圏大学生・留学生等各種プログラム参加者が利用する等、新たな交流人口の拡大に寄与した。 【事業で得られたノウハウ】 新聞・テレビ・ラジオ等メディアに計10回取り上げられたことにより、年代を問わず市内外からの集客につながった。より一層SNSによる情報発信に努めるとともに、旬の地元野菜を使った月替わりメニュー等を準備し、集客アップを図りたい。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPIは達成出来なかったが、交流人口拡大等により地域の活性化に有効であった	生涯学習スポーツ課
			実績値				2,355					
17	地場産品を活用した特産品開発件数	件	目標数値				1	1	【事業の成果】 遠野産米を製粉した米粉ピザを開発し、小麦アレルギーをもつ方でも食べられるメニューをつくることができた。地元高校生と地元野菜(琴畑かぶ)を使用したパスタメニューを共同開発したことにより、伝統野菜の新たな可能性を探ることができた。 【事業で得られたノウハウ】 地元高校生と連携した新メニューを開発したことで、市民からも注目を集めることができた。地元野菜の普及や流通拡大とともに地元高校魅力化にも寄与するので、今後も高校との連携を進めていきたい。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	生涯学習スポーツ課
			実績値				2					

○地方創生応援税制 遠野型インバウンド「永遠の日本のふるさと遠野」世界発信プロジェクト	18	遠野ふるさと村の入込数	人	目標数値	34,000	35,000	36,000	37,000	未達成	71%	【事業の成果】 遠野ふるさと村 弥十郎どん付属納屋の茅葺屋根の葺き替えを実施し、遠野ふるさと村内の景観保全と観光客の満足度向上に取り組んだが、目標数値の達成には至らなかった。要因としては、近年の旅行形態の変化に伴い、団体・ツアー客から個人客へ移行してきていることや、修学旅行生などの教育旅行実績が減少していることが挙げられる。 【事業で得られたノウハウ】 本市の重要な文化の一つである伝統的な茅葺屋根の保存は、その技術継承にかかる職人の技及び集落全体の景観保全は重要であり、観光客からも評価を頂いている。遠野の伝統文化の保全・継承における事業でもあるため、今後、市内の茅葺屋根（令和2年度は伝承園乗込み長屋）の修復作業期間には、多くの観光客のみなさんに見て頂けるよう観光コンテンツの一つに組み入れるなど、教育・文化の継承の面からも、PRする必要があると認識した。	地方創生に相当程度効果があった	目標を達成できなかったものの、KPI達成に向けて有効な取り組みであった	観光交流課
				実績値	31,117	29,930	29,577	26,441						
	19	遠野市に宿泊する観光客	千人	目標数値	79	81	83	85	未達成	81%	【事業の成果】 遠野ふるさと村 弥十郎どん付属納屋の茅葺屋根の葺き替えを実施し、遠野ふるさと村内の景観保全と観光客の満足度向上に取り組んだが、目標数値の達成には至らなかった。要因としては高速インフラ整備が進む近年の旅行形態は日帰り旅行が多く、且つ団体旅行者よりも個人旅行者が主流となっていることや、修学旅行生などの教育旅行実績が減少していることが挙げられる。 【事業で得られたノウハウ】 本市の重要な文化の一つである伝統的な茅葺屋根の保存は、その技術継承にかかる職人の技及び集落全体の景観保全は重要であり、観光客からも評価を頂いている。遠野の伝統文化の保全・継承における事業でもあるため、今後、市内の茅葺屋根（令和2年度は伝承園乗込み長屋）の修復作業期間には、多くの観光客のみなさんに見て頂けるよう観光コンテンツの一つに組み入れるなど、教育・文化の継承の面からも、PRする必要があると認識した。	地方創生に相当程度効果があった	目標を達成できなかったものの、KPI達成に向けて有効な取り組みであった	観光交流課
				実績値	85	77	67	69						
	20	遠野市を訪れる外国人観光客数	人	目標数値	1,500	1,800	2,000	2,200	達成	170%	【事業の成果】 遠野ふるさと村 弥十郎どん付属納屋の茅葺屋根の葺き替えを実施し、遠野ふるさと村内の景観保全と外国人観光客の満足度向上に取り組む、目標数値の達成を大幅に上回った。要因としては、ラグビーワールドカップ2019釜石会場への来客の影響が挙げられる。 【事業で得られたノウハウ】 本市の重要な文化の一つである伝統的な茅葺屋根の保存は、その技術継承にかかる職人の技及び集落全体の景観保全は重要であり、外国人からは、日本の原風景と農村文化を体感できる施設とした評価を頂いている。 遠野ふるさと村では、外国人観光客へのサービス向上を図るため、8か国語の多言語説明板（QRコードにより読み取り）を整備し、村内の曲り家等の理解を深める事業を実施したほか、市観光協会多言語ホームページにおいても遠野ふるさと村の多言語ページを設けたことから、令和3年度の東京2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、遠野の民俗文化を発信していく。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	観光交流課
				実績値	1,542	2,334	3,368	3,737						
○地方創生応援税制 企業支援による若者しごとサポート事業	21	奨学金返還支援数	人	目標数値				10	10		【事業の成果】 奨学金返還支援補助の実施により、市内中小企業の若年者の人材確保及び地元定着を促進した。 【事業で得られたノウハウ】 若年者の移住対策事業と連携を図り、事業効率性を高めるノウハウを得られた。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	商工労働課
				実績値				16						
	22	新卒者地元就業者数	人	目標数値				35	36		【事業の成果】 高校生・大学生を対象に地元企業の認知度及び理解向上を目的に開催したとした企業見学会、職場体験、就職説明会の実施により、市内中小企業等の若年者の人材確保を図った。 【事業で得られたノウハウ】 奨学金返還支援補助等の地元定着支援事業と合わせて、若年者地元就業者数確保のノウハウを得ることができた。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	商工労働課
				実績値				41						

※加速化交付金の番号1～6の目標数値（KPI）については、令和元年度までの目標数値を累計で設定したものであり平成29年度及び30年度の目標値は設定していない。